

2019 全然堂歳時記 夏 一 涼し

20句

2019年8月7日発

10行2段12ボ 桐9

その人の浮世離れの涼しけれ 三十度切つて涼しくなりにけり
めつきりといふ涼しさのきのふけふ 山あれば川の流れて涼しけれ
わき水の汲めども尽きぬ涼しさよ 室外機涼しき部屋のすぐ外に
一笑に付すといふこと涼しけれ 食べ盛り遊び盛りの涼しさよ
一本の団扇を得たる涼しさよ 水底の栓を抜きたる涼しさよ
黄の辛子みどりの山葵涼しけれ 青々と松と桜の涼しさよ
寄つてみて大樹の陰の涼しさよ 灯涼し即ち影の涼しけれ
旧家こそ昔ながらに涼しけれ 忘らるることも涼しと思ひけり
広間よりさらに涼しき大広間 涼しさは今日の暑さの成れの果
黒よりも赤の金魚の涼しけれ 諳んじて丸丸を手玉の涼しさよ

了ることも

夏

【涼し】

8.17 20句

山あれば川の流れて涼しけれ 諳んじて九九を手玉の涼しさよ
 青々と松と桜の涼しさよ 黄の辛子みどりの山葵涼しけれ
 寄つてみて大樹の陰の涼しさよ 一笑に付すといふこと涼しけれ
 わき水の汲めども尽きぬ涼しさよ ^{その人にそわそ} 浮世離れの涼しけれ
 旧家こそ昔ながらに涼しけれ 忘らるることも涼しと思ひけり
 広間よりさらに涼しき大広間 水底の栓を抜きたる涼しさよ
 一本の団扇を得たる涼しさよ 灯涼し即ち影の涼しけれ
 黒よりも赤の金魚の涼しけれ 涼しさは今日の暑さの成れの果
 室外機涼しき部屋のすぐ外に 三十度切つて涼しくなることも
 食べ盛り遊び盛りの涼しさよ めつきりといふ涼しさのきのふけふ

✓年をより

✓と心ふ日も

✓とれぬ

✓とよ

山あれば川の流れて涼しけれ 諳んじて九九を手玉の涼しさよ

青々と松と桜の涼しさよ 黄の辛子みどりの山葵涼しけれ

寄つてみて大樹の陰の涼しさよ ~~な~~にもかも浮世離れの涼しさよ

わき水の汲めども尽きぬ涼しさよ 一笑に付すといふこと涼しけれ

旧家こそ昔ながらに涼しけれ 忘らるることも涼しと思ひけり

広間よりさらに涼しき大広間 水底の栓を抜きたる涼しさよ

~~本~~の団扇を得たる涼しさよ ~~灯~~涼し即ち影の涼しけれ

~~黒~~よりも赤の金魚の涼しけれ 涼しさは今日の暑さの忘れ物

室外機涼しき部屋のすぐ外に ~~三~~十度切つて涼しと思ふ日も

~~食~~べ盛り遊び盛りの涼しさよ めつきりといふ涼しさのきのふけふ

3
8.17

二トして

炎天も雲の中なら涼しかろ ④ この網戸涼しさだけを通すなり
天龍の川となりたる涼しさよ ⑤ 団扇絵の美人片手に夕涼み
⑥ 青といふ涼しき色に煮炊の火人魂も涼みに来れ蚊遣香
⑦ しんしんと脱水の音月涼し ⑧ 蚊遣火の紅一点の涼しさよ
ふるさとの涼しき月を思ひけり 湯上りの子らで賑ふ橋涼み
住み古りし都の外れ月涼し 足元を船の貫く橋涼み
涼風とよくすれ違ふ日なりけり 子を連れて涼みがてらに町の寺
山々や夜風涼しく月も出て

山あれば川の流れて涼しけれ 一笑に付すといふこと涼しけれ
 炎天も雲の中なら涼しかろ 諳んじて九九を手玉の涼しさよ
 青々と松と桜の涼しさよ 黄の辛子みどりの山葵涼しけれ
 寄つてみて大樹の陰の涼しさよ 水底の栓を抜きたる涼しさよ
 わき水の汲めども尽きぬ涼しさよ 団扇絵の美人片手に夕涼み
 旧家こそ昔ながらに涼しけれ 蚊遣火の紅一点の涼しさよ
 広間よりさらに涼しき大広間 しんしんと脱水の音月涼し
 この網戸涼しさだけを通すなり 涼しさは今日の暑さの忘れ物
 室外機涼しき部屋のすぐ外に 忘らるることも涼しと思ひけり
 二人して浮世離れの涼しさよ めつきりといふ涼しさのきのふけふ

炎天も雲の中なら涼しかろ 一笑に付すといふこと涼しけれ
 山あれば川の流れて涼しけれ 諳んじて九九を手玉の涼しさよ
 寄つてみて大樹の陰の涼しさよ 黄の辛子みどりの山葵涼しけれ
 青々と松と桜の涼しさよ 団扇絵の美人片手に夕涼み
 わき水の汲めども尽きぬ涼しさよ 蚊遣火の紅一点の涼しさよ
 旧家こそ昔ながらに涼しけれ 水底の栓を抜きたる涼しさよ
 広間よりさらに涼しき大広間 しんしんと脱水の音月涼し
 この網戸涼しさだけを通すなり 涼しさは今日の暑さの忘れ物
 室外機涼しき部屋のすぐ外に 忘らるることも涼しと思ひけり
 二人して浮世離れの涼しさよ めつきりといふ涼しさのきのふけふ